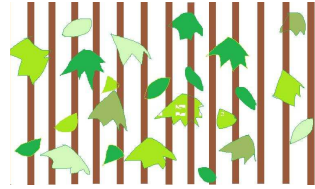


# トーホテックかわらばん

2011年 春号

## 今年の緑のカーテンは？

これまで緑のカーテンといえばゴーヤ。でも、緑のカーテンになってくれる植物はまだまだ沢山あります。そこで、ちょっと新しい緑のカーテンを紹介しましょう！



### ★アピオス

別名“アメリカホドイモ”（原産地は北米）と呼ばれるつる性のマメ科植物です。ジャガイモのように地下茎に塊茎ができ、それを食用にします。

ネイティブ・アメリカンの栄養食だったと言われるだけあって、たいへん栄養価が高いのも魅力的。

1965年頃、東北大学農学部の星川教授が研究を始めたのがはじまりだと言われているこのアピオスは、東北地方を中心に栽培が行われています。藤の花のような甘い香りのする美しい花が咲くので、食用としてだけでなく観賞用としても楽しめます。ジャガイモが栽培できる地方では栽培可能なので、ぜひ育ててみたいですね。



### ★ミニメロン “ころたん”

廿カタから発売された新しい品種“ころたん”に注目です！従来のメロン栽培では露地栽培が一般的ですが、この品種はあんどん仕立てや立体栽培がオススメだという家庭菜園向きの品種です。



もともとメロンはつる性の一年生草本ですから、緑のカーテンとしての役割を期待通りに…とまでいかないにしても、美味しいカーテンになってくれることは間違いないようです。

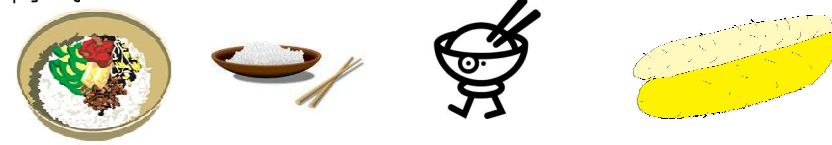


美味しいカーテンだ！

きれいなネットメロンにするためにはプロでも難しいと言われていますが、家庭でも簡単に栽培できると注目を浴びています。さらに、「甘くて美味」や「タネと皮の部分が少しいので可食部が多い」のも特徴も備えているのが魅力的です。

### ★長いも

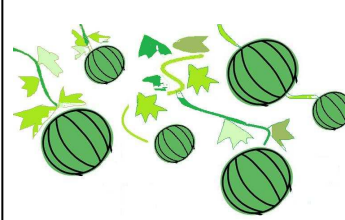
北海道向きの緑の長いもはご飯のおかずにも最高だ～！ “長いも”です。長いもはヤマノイモ類の中でも耐寒性が非常に強く、昼夜の温度差の大きい地方で質の良いイモが収穫できるので、まさに北海道向き。



ただし、長さのあるイモを栽培しようとすると、深く土を耕す必要があります。それでも、コンテナ栽培でもある程度つるが長くほり、緑の葉を楽しむことができます。

5月に種イモを植え付け、地上部が枯れる11月に掘ってみると新しいイモが収穫できます。

### ★風船かずら



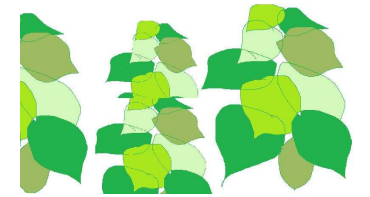
別名：パルーンパインとも言われる風船かずらは、その名の通りかわいらしい風船をつけます。

花言葉は“多忙”で、次から次へと休み間もなく風船を寒らせていきます。晩秋には緑の葉が茶色に色づいていきますが、その様子も牧歌的なイメージを漂わせています。

### ★オカワカメ

ワイルドササキの仲間、栄養価の高い野菜です。柔らかい葉をサラダにしたり、茹でておひたしで食べることが出来ます。コリコリとした少し歯ごたえのある食感でしょう。

半耐寒性なので北海道でも栽培することが可能ということですが、ブラジル原産ということなので冷涼な地域では育ちにくいかもしれません。日当たりの良い場所でも栽培します。



観葉植物っぽい草姿

### ★エアポテト

本州では緑のカーテンとして脚光を浴びているのが“エアポテト（別名：宇宙イモ）”です。原産地が熱帯アジア・フィリピンですから、冷涼な地域では育たないとしても実があまり大きくなりません。

エアポテトは、肥大したムカゴを空中につけます。それはまるでジャガイモが空中になっているような姿です。栽培にチャレンジしてみたいは？



イモが空を飛んでいる？！

その他にも、キュウリ、ササゲ、ひょうたん、ハクマ、ブドウ、クレマチスなどたくさんあります。あなたの今年の緑のカーテンの主役になってくれるのはどの植物ですか～？

本社/展示場 石狩郡当別町獅子内 708-38

TEL:0133-26-3661 FAX:0133-26-4186

北海道エクステリアガーデニング協議会会員

トーホテック株式会社

営業時間:9:00~17:30 土日祝営業中 定休日:火曜日

トーホテック

検索

info@tohotec.com

